

令和3年度医療的ケア児に関する状況調査結果（概要）

1 目的

近年の医療技術の進歩等により、在宅で生活する重症心身障がい児・者及び医療的ケア児が増加していることから、地域生活支援体制の検討を行うための基礎資料とすることを目的とする。

2 調査条件

調査対象	在宅の医療的ケア児（札幌市を除く。）
対象年齢	20歳未満
調査方法	振興局社会福祉課を經由して、市町村担当部署に照会
調査期間	令和4年2月照会、令和4年5月集約
調査時点	令和3年4月1日

3 調査結果（単位：人）

(1) 医療的ケア児（上段）及び、うち重症心身障害児（下段）の人数

計	0～5歳	6～17歳	18～19歳
378	130	225	23
215	59	139	17

(2) 身体障害者手帳の取得状況（級別、種別）

級別	人数	種別	人数
1級	278	視覚障害	2
2級	21	聴覚又は平衡機能の障害	4
3級	16	音声機能、言語機能又はそしゃく機能の障害	1
4級	8	肢体不自由	260
5級	1	心臓、じん臓又は呼吸器の機能の障害	42
6級	1	ぼうこう又は直腸の機能の障害	9
7級	0	小腸の機能の障害	7
取得なし	53	計	325
計	378		

(3) 療育手帳の取得状況

計	A	B	取得なし	未回答
378	149	22	207	0

(4) 精神障害者保健福祉手帳の取得状況

計	1級	2級	3級	取得なし	未回答
378	0	0	0	377	1

(5) 小児慢性特定疾病の医療費助成

計	受けている	受けていない	未回答
378	159	190	29

(6) 就学等の状況及び通園・通学の状況

就学等の状況	人数
保育所	14
認定こども園	8
幼稚園	3
家庭的保育事業等（地域型保育）	0
認可外保育所（へきち保育所含む）	2
小学校（通常学級）	9
小学校（特別支援学級）	42
中学校（通常学級）	7
中学校（特別支援学級）	6
高等学校	2
特別支援学校（幼稚部）	0
特別支援学校（小学部）	70
特別支援学校（中学部）	45
特別支援学校（高等部）	40
その他（未就学児）	104
その他（未就学児以外）	23
未回答	3
計	378

通園・通学の状況	人数
徒歩等	24
自家用車	135
スクールバス	22
寄宿舍	4
訪問教育	50
その他	12
未回答	1
計	248

(7) 保育の必要性の有無（未就学児）

計	あり	なし	未回答
131	74	54	3

通所している	通所していない
25	49

(8) 放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）の利用希望

計	利用希望あり	利用希望なし	未回答
121	26	85	10

通所している	通所していない
11	15

(9) 姿勢

計	1人で座ることができない	1人で座ることができる	つかまり立ちができる	1人で立つことができる	未回答
378	204	38	25	104	7

(10) 移動

計	全く移動はできない	寝返りができる	背ばい、腹ばい ができる	四つんばい ができる	つたい歩き ができる	1人歩き ができる	未回答
378	167	30	33	14	23	104	7

(11) 食事

計	経管栄養	経口摂取の全面的な 介助が必要	経口摂取の一部 介助が必要	1人で食べること ができる	未回答
378	201	58	35	76	8

(12) 食形態

計	経管栄養剤	流動食	ミキサー食	きざみ食	軟らかく調理した もの	普通食	未回答
378	176	14	35	22	20	101	10

(13) 排泄時の介助

計	全面的な介助が 必要	一部介助が必要	時々介助が必要	介助は不要	未回答
378	288	35	13	35	7

(14) 入浴時の介助

計	全面的な介助が 必要	一部介助が必要	時々介助が必要	介助は不要	未回答
378	281	41	19	30	7

(15) 言語等の理解

計	言語の理解は 難しい	簡単な言語を理 解できる	簡単な色、文字、 数を理解できる	文章を理解 できる	未回答
378	188	83	28	72	7

(16) 意思表示

計	ほとんどみ られない	声や身振りで表 現できる	意味のある単語を 話すことができる	簡単な文章で話 すことができる	会話 ができる	未回答
378	128	121	27	26	68	8

(17) 医療機関等の利用状況について（記述、複数回答）

区分	人数
医療機関	360
歯科医療機関	79
訪問歯科診療	30
訪問診療	29
訪問看護	135
医療機関でのショートステイ	40

(18) 利用している障害福祉サービス（種別）（複数回答）

区分	人数
居宅介護	84
同行援護	0
行動援護	0
短期入所	116
重度障害者包括支援	0
生活介助	14
重度訪問介護	3
福祉型児童発達支援	58
医療型児童発達支援	13
放課後等デイサービス	154
居宅訪問型児童発達支援	11
保育所等訪問支援	9
移動支援	53
訪問入浴	37
日中一時支援	66

サービス利用の有無	人数
いずれかのサービスを利用している	282
いずれのサービスも利用していない	96
計	378

(19) 居住地外の事業所の利用

計	利用している	利用していない	未回答
378	87	290	1

(20) サービス等利用計画

計	作成している	セルフプランにより作成している	作成していない	未回答
378	80	21	275	2

(21) 障害児支援利用計画

計	作成している	セルフプランにより作成している	作成していない	未回答
378	181	46	150	1

(22) 医療的ケアの実施者

区分	実施者 (複数回答)	主たる実施者 (1つ選択)
母	362	339
父	241	5
きょうだい	34	0
祖母	70	0
祖父	24	1
その他の家族	15	0
お子様本人	36	19
ホームヘルパー	5	0
訪問看護ステーションの看護師	120	0
福祉サービス事業所の看護師	105	0
福祉サービス事業所の職員（看護師以外）	21	1
その他（家族以外）	37	2
未回答	8	11
計	—	378

医療的ケアの主たる実施者が家族
345

(23) 主たる実施者が不在時における依頼者（主たる実施者が家族の場合）

計	いる	いない	未回答
345	245	91	9

(24) 主たる実施者（家族）の就労状況

就労状況	人数
正社員	34
非正社員（パート・派遣社員等）	68
自営業	24
現在仕事をしていない	201
未回答	18
計	345

現在仕事をしている
126

(25) 主たる実施者（家族）の週当たり勤務日数及び労働時間

勤務日数	人数	労働時間	人数
1日	3	1～8時間	20
2日	9	9～16時間	19
3日	14	17～24時間	19
4日	14	25～32時間	15
5日	58	33～40時間	31
6日	10	41～48時間	7
7日	5	49時間～	1
未回答	13	未回答	14
計	126	計	126

(26) 主たる実施者（家族）の就労希望

○現在仕事をしている

就労希望	人数
現在より勤務日数や労働時間を増やしたい	35
勤務日数や労働時間を増やすことは特に希望していない	85
未回答	6
計	126

○現在仕事をしていない

就労希望	人数
就労を希望している	57
就労を希望していない	136
未回答	8
計	201

(27) 医療的ケア等の内容（複数回答）

区分	人数
人工呼吸器（鼻マスク式補助換気法、ハイフローセラピー、間歇式陽圧吸入法、高頻度胸壁振動装置を含む。）の管理	84
排痰補助装置の管理	44
気管切開の管理	97
鼻咽頭エアウェイの管理	12
酸素療法	100
吸引（口鼻腔又は気管内吸引に限る。）	166
ネブライザーの管理	102
経管栄養（経鼻胃管、胃瘻、経鼻腸管、経胃瘻腸管、腸瘻又は食道瘻）	229
経管栄養（持続経管注入ポンプ使用）	17
中心静脈カテーテルの管理（中心静脈栄養、肺高血圧症治療薬、麻薬等）	11
皮下注射（インスリン、麻薬等の注射を含む。）	17
皮下注射（持続皮下注射ポンプの使用）	3
血糖測定（持続血糖測定器による血糖測定を含む。）埋め込み式血糖測定器による血糖測定	18
継続的な透析（血液透析・腹膜透析等）	0
間欠的導尿	39
持続的導尿（尿道留置カテーテル、膀胱瘻、腎瘻又は尿路ストーマ）	18
排便管理（消化管ストーマ）	7
排便管理（摘便又は洗腸）	28
排便管理（浣腸）	58
痙攣時における座薬挿入、吸引、酸素投与又は迷走神経刺激装置の作動等の処置	66
パルスオキシメーター	145
服薬管理	216
その他	8
未回答	2

(28) 医療的ケア児についての主な相談先（複数回答）

区分	人数	うち、コーディネーター※
医療機関の職員（医師・看護師・MSW等）	353	0
訪問看護事業所の職員（看護師等）	143	0
福祉サービス事業所等の職員	206	20
行政機関の職員	145	14
学校・保育所等の職員	149	1
知人・友人	71	0
患者団体・支援団体	23	1
他の障がい児者の保護者	102	0
家族・兄弟姉妹	170	0
その他	5	0
未回答	15	—

※左欄人数のうち、相談先職員等が、医療的ケア児等コーディネーターであると回答した人数

(29) 医療的ケア児の家族の抱える課題

別添のとおり

